

市議会だより



市議会ホームページ

発行／喜多方市議会 編集／議会広報広聴委員会



観光物産
チーム喜多方結成!?

9月定例会

アイデミきたかた(複合施設)来春オープン

おじゃまします市議会です 2

9月定例会審議内容 4

一般質問17名 8

取材レポート 20

新型コロナウイルス感染症対策のため撮影時のみマスクを外しています

おじゃまします 市議会です

特

集

観光物産の未来へ

チェンジ&チャレンジ



おじゃまします市議会では、市内の様々な業種に携わる若手にスポットを当て、その活躍を広く市民の皆様にお知らせする企画をスタートしました。

2回目は、観光物産業に携わる若手の皆様から仕事に対する想いをお聴きしました。



今井 良さん
(山都 宮古)

今の仕事に携わった
きっかけは

今井 祖父のやっていたそば屋を手伝うため埼玉から来ました。祖父が亡くなり必然的に後を継いだ形です。

齋藤 実家が酒蔵で、大学で醸造を学び後継ぎました。自分が杜氏として造った酒を販売するようになり、観光物産を考えるようになりました。
武藤 実家が味噌屋で大学の醸造学科を卒業しました。私は次男ですが後継ぎたくて、それを兄も理解してくれました。

五十嵐 実家が製麺業で、自分が後を継ぐのがスムーズだと考えていました。

東京で就職しましたが、東日本大震災をきっかけに喜多方のために何かできないかと考え、実家に戻りました。

山本 昔から母親が大好きで私も母と同じ道を歩きたくて、東京から旅館業を営む実家に戻ってきました。喜多方に活気を取り戻したくて、ヴィーガンなど喜多方市民が健康になれるような取組をしています。

現在の課題や悩みは

山本 フリーランスに対する行政の支援が少なく、また、新たな提案に対し、現状維持を望んでいるように感じます。

五十嵐 自社だけの活動では効果が少ないので、



齋藤 孝典さん
(高郷 西羽賀)

喜多方市が一丸となり喜多方出身者を含めた形で観光物産のPR活動ができるのでは効果を発揮できるのではないかと考えます。

武藤 若者の和食に対する意識が低いので、インスタ映えるような商品開発を模索中です。また、子どもが遊べる施設が少なく、市外に出掛けてしまいお金が流出していると感じます。市内でお金が循環するよう衣食住の充実を図るべきと考えます。

齋藤 コロナ禍で新たな商品を発売しても、小売店などに迷惑がかかる気がして売り込めないのが悩みです。

今井 高齢化で、宮古のそば屋も減ってきており



武藤 隆弘さん
(塩川 7区)

を千円にできないか模索中です。また、健康志向の方に向けたヴィーガン用のラーメン等、個人限定のアイテムなども単価を上げる方法かなと考えます。

厳しい状況です。解決の糸口も見えず、最後は自分ひとりになってしまふのではと危惧しています。
客単価を上げる方策は
今井 喜多方で一杯700円のそばを埼玉なら千円で出せます。昔から繋いできた物は大事ですが、それを壊すことも必要と感じます。

今後の展望について

武藤 地元のお客様に支えられてきたので、塩川を盛り上げたい。また、人口が減少していく中、国内でお客様を奪い合うのではなく、海外へも商品売り込めればと思います。

齋藤 棚田米を使用した酒を日本橋福島館のイベ



五十嵐 あゆみさん
(喜多方 下町南部)

ントで出品していました。が、地すべりとコロナでできなくなりました。今年は会津型をデザインした新たなラベルを作ったり、100%県産米の商品を作ったので売り込んでいきたいです。

今井 コロナで飲食店は大きなダメージを受けたので一日でも早い収束を願うばかりです。そんな中、山都ではそばの品質向上を目指し山都そばブランドアップ事業に取り組みでおり、期待しています。

五十嵐 喜多方が一丸となって観光物産を盛り上げていくことが目標です。行政だけでは難しいと思うので、喜多方の営業マン的な方が活動できるような仕組みがあればと思います。

山本 温泉街を作ることが目標です。熱塩温泉は入口から登っていく坂がとてもいい感じ。それから、みなさんの話を聞いていてひらめいたの

ですが、喜多方の物産だけを集めたマルシェを開催して、それぞれがコラボした商品などが販売できれば若者にウケると思います。



山本 志穂さん
(熱塩加納 熱塩)

議会に望むこと

齋藤 コロナ禍で日本酒のイベントがすべて中止になっており、ワクチン接種証明書などを提示すれば参加できるような仕組みを作っていただきたいと思っています。

今井 同じくそばまつりも一同に会することができず、各店舗を周遊する形で、お祭りが全くありません。スペースを広くとるなどして、以前のように開催できるようにお願いしたい

いです。

武藤 合併して10数年経ちましたが、未だに各地区に壁のようなものを漠然と感じます。各地区が連携し喜多方が一丸となる雰囲気づくりを議会にもお願いします。

五十嵐 新しいチャレンジに対して自由度のある補助金の検討をお願いします。

山本 喜多方には素敵な空き家がいっぱいあるので、若者がそれを活用して起業できるような支援をお願いします。



アイデミきたかた(複合施設)来春オープン

9月
定例会

令和3年第7回9月定例会は9月2日から9月16日までの15日間の会期で開催されました。
市長提案により、報告2件、令和3年度予算案11件、条例案4件、人事案件2件、その他6件と、
議会から議会案5件が提出されました。

令和3年度 補正予算

会計	補正額	累計
一 般	8億1,285万6千円	283億3,840万6千円
特 別	3億245万9千円	52億8,832万4千円
下水道(収入)	1,267万9千円	21億4,501万8千円
// (支出)	△239万7千円	24億4,681万 円
水 道(収入)	2,792万 円	13億9,074万6千円
// (支出)	1,436万8千円	17億1,235万4千円

9月定例会で議論された主な事業

喜多方市過疎地域持続的発展計画の策定



本市の持続的発展に資する各種施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として「喜多方市過疎地域持続的発展計画」を策定

求職者向け企業情報検索サイト作成業務委託



新型コロナウイルス感染症の影響で合同企業説明会が開催できないため、地元就職希望者へ市内企業の情報を提供する求職者向け企業情報検索サイトの作成を委託
[事業費] 2,112千円

小・中学校コンピュータ教育経費



児童・生徒用タブレットの通信環境を整備するための経費
[事業費] 2,148千円

喜多方市カーボンニュートラル宣言



豊かな喜多方の自然環境を次の世代につなぐため、すべての市民で力を合わせ、二酸化炭素排出削減に取り組む「カーボンニュートラル宣言」

出典 気候変動適応情報プラットフォーム

議案審議・委員会の審査から

複合施設建設の国庫補助金が過年度収入として計上 オープンは来年4月

複合施設建設に係る国庫補助金が過年度収入として計上された。市は国からの補助金が入るまでの間に財政調整基金から支出していた。今回国からの補助分を財政調整基金へ積み戻した。令和3年度末の財政調整基金残高は現状では17億円弱となる見込みである。

国庫補助過年度収入が計上されているが、これは複合施設建設に係る部分で先に市の財政調整基金から支出したものが戻ってきたという認識で良いか。

金額は4億3千329万3千円であり、支出した金額を積み戻した。

オープンは来年4月にできるのか。

完成は来年3月中旬を予定

定している。工事はコロナ対策もあり遅れた部分はあるが現在順調に進んでいる。

財政調整基金積立金に複合施設の補助金を積み戻したとのことだが、今年度は減債基金への積立はなしということがあるか。

今年度は財政調整基金へ積み立てる計画である。



これでいいのか！ 喜多方市過疎地域持続的発展計画

この計画の期間は、令和3年4月1日～令和8年3月31日までの5年間。

新たな過疎法の改正により、過疎債の額は今までより増えるのか。

今回、産業振興促進事項を盛り込んだことで、過疎地域における税制上の優遇措置が新たに加えられる、国全体で300億円ほど増額し5千億円となった。

「地域における情報化」については、ICTを活用した今後の進め方を具体的に記載すべきではないか。

国においてもデジタル庁が設置され、通信環境が進歩しICTの推進が求められる状況になるため、具体的に盛り込むべきものについて見直しを行っていく。

重要な計画は、審議会などを踏まえて十分に審議した中でつくるべきではなかったのか。

前の過疎法が今年の3月31日で失効、その後新たな過疎法ができるか不明確だったため、新たな過疎法の制定や、みなし過疎の継続を要望してきた。結果的に新たな過疎法が4月1日に施行され大変喜んでいて。ただ、この計画は今日まで時間がない中で作ってきた。他の計画との整合性も図りながらつくる必要があったので、審議会等の場を設けることは事実上困難であった。

今後、見直しが必要と考えるが、必要に応じて見直しを進める。

児童生徒タブレット導入後の 課題解決に向けた取り組みは？

今年度より、市内小中学校・児童生徒にタブレットが配布された。

定例会では、モバイル通信網の整備として経費が計上されたが、具体的な問題についての議論が行われた。

小中学校で、タブレット導入後の通信の不具合は？

当局で各地域の電波状況を確認した。また、小中学生の家庭での通信不具合が発生した報告を約10件受けている。

不具合状況の対応策は？

当初準備したモバイルルーターでは、電波状況の改善ができないため、ルーターを介せずに直接タブレットから電波を取り込む機器への切り替えをおこない対応する。



学校でタブレット使用した授業での問題は？低学年のタブレット使用状況は？

教師用タブレットにデジタル教科書が取り込めない問題が発生した。導入検討時では、そういった事態が予測できなかったため、検討が不十分だった。対策として、SDカードにデジタル教科書を取り込み今後対応する。1・2年生で、タブレット操作が難しいとの問題が生じている。学校での指導、タブレット操作作業の単純化など十分におこない、効果的な学習ができるように進めて行く。

慎重な対応を求める！

□頭付言

喜多方市カーボンニュートラル宣言

2050年までに市全体の二酸化炭素排出量を実質ゼロとするカーボンニュートラルの実現を目指し、その取組を推進することにより、自然豊かで活力に満ちた希望あふれる喜多方を未来につなげるための宣言である。

□頭付言

本市が国県に先駆けてカーボンニュートラルの実現を図ることができるような数値目標を設定し、その実現に向けて努力されたい。また、市民一体となって取組を推進していく意識の醸成に努められたい。

土地の取得について

県営農村地域復興再生基盤総合整備事業駒形第三地区内において、藤権現遺跡の保護及び保存に係る用地として、土地の取得をおこなう。

□頭付言

藤権現遺跡については、土地改良事業が現に行われており、時期的にもやむを得ない事情があったとはいえ、発掘調査も完了しておらず、また国による史跡指定もされていない状況で土地を先行取得することは市民の理解も得難い。今後、このような土地の取得については十分慎重さを持って対応されたい。また、古屋敷遺跡、会津新宮城跡とともに、文化財保存活用地域計画に位置付けを図られたい。

豊川慶徳線が暫定供用に！

豊川慶徳線については、会津縦貫北道路喜多方ーCから綾金工業団地へのアクセスの利便性を図ることを目的として、令和5年度の全線開通、供用開始を目指して計画を進めてきたが、今回の議会において暫定供用になる見込みであることが判明した。

豊川慶徳線について補正予算が組まれているが詳細は？

計画していた新設道路の部分の地権者が急逝したことから、計画通りの用地取得が困難となったため、迂回路を設けて暫定供用を行うこととし、その本線部分の改良工事の予算である。

工事を延期ではなく、暫定供用とした理由は？

令和5年度までに全線開通し、綾金工業団地へのアクセスを良くすることを立地した企業へ説明している中で、工事延期ではなく迂回路を設定した上での暫定供用という判断に至った。



広葉樹林の再生 キノコの原木として活用を図れるか？

この事業は、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、キノコの原木として利用できない広葉樹林を対象に伐採を行い、萌芽更新によって森林の再生を促し、キノコの原木として活用を図る事業である。

広葉樹林の再生地区はどこで、面積はどの程度か？

塩川町の刈麻山地区で最終的に15haを予定している。

業務の委託内容はどのようなになっているのか？

キノコの原木として利用できない広葉樹林を対象に伐採して、集積した木を搬出しチップ等への再利用を考えている。



今後、ほかの地区に拡大させる考えは？

キノコの原木で利用する意向があり、試し切りで放射線量を調査し、使用できないレベルであれば対応について検討したい。



喜多方市政のココが知りたい！

一般質問

一般質問は、市政全般について市の方針を質すものです。

9月定例会の一般質問は9月6日から9月9日までの4日間行われ、17名の議員が登壇し、市民の皆さんの生活にかかわる行政全般について質問をしました。

文面は各議員の自己編集とし、質問した項目のなかから1項目程度を要約して掲載しております。(すべての質問項目は、オンデマンド配信でご覧いただけます。また、開期中はインターネットで中継を配信しています。)



※各議員のQRコードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、オンデマンド配信でご覧いただけます。

一般質問

気候非常事態宣言にも取り組むべきと考えるがどうか

市長 気候非常事態宣言に向けての検討をする



齋藤 仁一 議員



問

2020年10月府は「温室効果ガスの排出量2050年までに実質ゼロにする」カーボンニュートラル宣言を発表した。その翌月には、気候非常事態宣言を衆議院と参議院それぞれ全会一致で可決し、脱炭素社会の構築に向けて、その方向性を打ち出した。

この事について、ある識者の意見では「この二つの宣言は、日本政府と国会が脱炭素経済・社会に向けて舵を切ったことになるが、やっと気候変動後進国から抜け出すスタートラインに着いたにすぎない」と指摘している。

市は、気候非常事態宣言の内容が、カーボンニュートラル宣言に

包含されたとの理解であるが、二つの宣言があつて脱炭素経済・社会構築に向け進むことができるかと理解している。市としても当然「気候非常事態宣言」について検討すべきと考えるがどうか。

答

気候非常事態であるという認識はしている。カーボンニュートラル宣言後に、専門分野や市民の方々の意見を伺い、気候非常事態宣言に向けて検討をする。



▲大雨や豪雨による被害が出ている

有害獣被害被害対策はどのように実施するのか？



後藤 誠司 議員



執行率90%である。

市長 電気柵の設置が効果的である

問 今年度も各地でクマ、サル、イノシシ等の有害獣が出没しており、農作物被害も発生している。幸い人的被害はないが、それぞれの農作物被害面積と被害金額は。

答 ツキノワグマの被害面積42・4アール、被害金額11万3千186円。ニホンザルが被害面積11・7アール、被害金額24万570円。イノシシが被害面積65・1アール、被害金額62万5千752円である。

問 電気柵購入支援事業補助金の今年度予算執行状況は。

答 8月31日現在の状況は、1千444万4千円に対し、交付決定額1千298万4千円で、

問 これから水稲やそばの収穫期を迎えるが、今後どのように対策を実施していくのか。

答 電気柵の設置が効果的であり、出没についても減少している。「未利用果樹等伐採事業補助金」の活用も推進していく。

集落ぐるみの対策が重要であり、集落環境診断を実施して、有害獣被害にあわないように努めていく。



▲電気柵設置風景

次期市長選出馬すべき！



市長 重く受けとめる

問 本市発展のため、積極的に行動し諸施策を実現してきたことを高く評価するが、これまでの4年間をどう総括するのか。

答 オール市民でのまちづくりを心掛け、市民一人ひとりの声や提言に真摯に耳を傾け市政に反映させていくことを基本的な考えとして、市政執行にあたり3つの基本理念を掲げ、子どもからお年寄りまで全ての市民が笑顔にあふれ「愛と希望のもてるふるさと喜多方」「わくわくする喜多方」の実現に取り組んできた。

問 次期市長選について、これまで培ってきた政治手腕と行動

力に大きな期待と信頼を託すが、再出馬し市民の負託に応えるべきでは。

答 しかるべき時期に判断をしていく。

問 コロナ禍のこの窮状をまかせられるのは、遠藤忠一氏しかおられないという思いを申し上げ、しっかりと判断をして頂きたい。

答 重く受けとめさせていただく。

問 慶徳峠の改良整備は。

答 地すべり箇所があり、橋梁整備を検討中、早期開通に向け要望する。

齋藤 勘一郎 議員



上三宮小、小規模特認校導入の基本的考え方は



長澤 勝幸 議員

教育長 緊急的な状況に対応するため特例的に制度導入



問 小中学校適正規模
適正配置の問題で
様々な意見・考え方が
ある。

答 関係者及び子供たちの
教育環境整備に
関係者及び子供たちの
教育環境整備に
関係者及び子供たちの
教育環境整備に

問 審議会で出された
意見を基に、学区
の考え方や学校規模に
ついて整理し「実施計
画(素案)」として、今
後、地域説明会に示す。

問 上三宮小学校(全
児童16人)への対
応で「早急に結論を出
す」と方針が示された。

答 同校への小規模特認
校制度導入の基本的考
え方、具体的検討、他
地域から同様の要望が
あった場合の対応。令
和4年度開始の考えは
どうなるのか。

答 学校選択制の一つ
で、上三宮小の緊
急的な状況に対応する
ために特例的に導入を
行い、きめ細かな指導
や特色ある教育を行う。
一定の条件で通学外
からの入学を認め、令
和4年4月実施に向け
て準備している。

問 他地域からの同様の
要望については、学習
環境や地域との関わり
などの中で検討する。

問 緊急的に実施する
がいつまで続くの
か。

答 急いで手当てが必
要。地元との協力が
なければ成功しない。
いつまで続くかは明確
にできないが、最低4
学級以上にならないと特
認校にした意味がない。



ごみの徹底した排出抑制・減量化を！



市長 検討する余地がある

問 近年全国的には、
ごみの排出量が減
少傾向にあり、その最
大の要因は人口減少に
あると言われている。

答 プラスチック製容
器包装が汚れたま
ま出され、リサイクル
にまわせず、可燃ごみ
として焼却処分せざる
を得ないものが多いこ
とや空き家などから家
具や布団類を直接持ち
込むことが増えている。

問 鹿児島県志布志市
では、ゴミの28分
別で減量化に挑戦し、
最終処分ゴミを減らし
た。志布志市は焼却炉
を持たない自治体とし
て注目されている。全

国には住民の理解と協
力を得ながら減量化に
取り組んでいる市町村
が少なからずある。
今、自治体は焼却中
心から、環境・資源重
視に変わるべきだと言
われている。

答 喜多方市は羽山最終
処分場の増設と山都工
場の改修に多額の事業
予算が求められている。
市町村のごみ減量化は
待ったなしの課題であ
るが市の対応策は？

答 志布志市の例は承
知している。検討
する余地がある。

小澤 誠 議員



新型コロナワクチン接種と副反応への対応は



市長 予防接種健康被害調査委員会を常設とし給付の立替制度も含め救済していく

山口 和男 議員



問 新型コロナウィルス陽性者の入院対策を重症者に限定し、自宅療養に改悪する政策では、国民の生命は守れない。

山口 和男 議員
かに対応できるよう喜多方市予防接種健康被害調査委員会を常設委員会として設置したい。健康被害に対する救済については、給付の立替制度や市独自の制度も含め、早めに救済できるよう検討する。

よって、入院対象を重症者に限定する方針の撤回と福井県方式の喜多方版の具体策を求めるが市長の見解は。

答 医療提供体制については、県が主体的に対応するので、安心して療養できる環境が確保されるよう要望していく。

問 ワクチン接種による副反応で医療機関に3日間通院し、5日間入院した方への救済について伺う。

答 ワクチン接種による健康被害に速や

ドローンを活用した取り組みは！

市長 今年度、新たにドローンで撮影し、本市のPR動画を制作する



問 ドローン導入に関する、市の補助金などの支援策は？

答 ドローンに特化した支援では無いが、「あきない力向上支援事業」という補助事業がある。この事業では、ドローンを導入する取り組みも補助対象としており、今年度、補助金を活用した事例がある。また他に、ドローン操縦技術の習得に要する経費が、補助対象になる「あきない人材育成事業」がある。これらの補助事業により、ドローン導入や操縦技術



山口 文章 議員



習得について支援することができると考える。

問 千葉県八街市で児童5人の死傷事故が発生した。この事故で、国は全国の自治体に通学路の合同点検を実施するようになったが、本市の対応は？

答 市では、喜多方建設事務所、市校長会、市PTA連絡協議会、市建設課、危機管理課、学校教育課で構成されている通学路安全推進会議において、毎年合同点検を実施している。

千葉県八街市の事故を受け、7月6日に各関係機関に、今年度の通学路安全推進会議において依頼した箇所の早期の対応を出来る限りお願いした。

多様な人材が活躍できる本市自治組織をどう図る!



市長 高度化する住民ニーズに対応できる人材育成に努める

佐原 正秀 議員



問 本市役所内において誰もが活躍できる職場を形成するため

の、多様で柔軟な働き方を可能とする職場環境整備を、今後どのように対応するのか。

答

多様な人材・働き方の対策と課題は、ワークバランスの下、新しいことに挑戦する職員作りに努力していく。

問

さまざまな手法で、模索してきた働き方改革であるが、コロナショックを受けテレワーク導入機運が、大きく高まった。本市のリモートアクセス環境整備が求められるが、その対策をどう進めるのか。

答

昨年4月よりテレワークの運用を試行しているが、現在は、ネットワークシステムのセキュリティを確保し、接続環境の整備を充実させていく。

問

多くの自治体ではオンラインの導入が高まってきている。市の対応としては、デジタル推進課の設置を

図り、申請書類のハンコレスの推進、物品購入や業務委託などの事務手続きを、電子契約に切り替えるべきと考えるが対策をどう図るのか。

答

会津地方デジタル変革プロジェクトにおいて、行政手続きのオンライン化を含めた自治体のデジタル化推進について業務量調査や共同利用可能について検討を行っており、一緒に進める。

一般質問

本市産米、市場での目指すべき位置付けは!?



市長 高価格帯となる一般家庭向けとして位置付けたい

問 本市産米は市場でどういった位置付けを目指すべきか。

答

本市は全国有数の良質で食味の良いコシヒカリの産地として市場から認知され、近年は中食・外食用への販売割合が高まっているが、平均相対取引価格は全国平均を下回るなど、以前に比べて価格面での優位性にながっていない状況。

市としては、コシヒカリは高価格帯となる一般家庭向けとして販売することを基本とし、中食・外食用向けについては、県オリジナル品種である「天のつぶ」や「里山のつぶ」などの多収品種で対応できるように生産拡大を進めていくことが必要

問 農林業ビジョンに掲げる「農業が若者の職業選択の対象となる」ために必要な施策は何か。

答

農業が他産業並みの所得を確保することが可能であり、若者が将来にわたって魅力を感じることができれば産業となる必要がある。そのため、一定規模の経営耕地の確保、農業用機械や施設・設備等の整備が必要になることから、担い手への農地の集積・集約化に向けた施策や収益力強化に必要な農業用機械・設備の整備を支援する施策、園芸作物の生産拡大・施設化に向けた施策、さらには6次産業化の推進に向けた施策など、なお一層進めていく必要がある。

渡部 一樹 議員



「上三宮小を存続」とした理由は



矢吹 哲哉 議員



教育長 地元の意向等を検討、小規模特認校とした

問 上三宮小を小規模特認校として来年度スタートするとの方針に決めた理由は。

答 上三宮小は複式2学級、生徒数16人の規模で、今後もこのような状況が続くと予想される。そのため、適正配置実施計画(案)とは別に、早急に検討してきた。

地元の意向把握につとめ、小規模特認校制度の導入の方針とした。

問 適正規模適正配置審議会で出された意見のまとめ、論点整理は今後どうするのか。

答 学区の考え方や学校規模等について、事務局で整理し「実施計画(素案)」として示していく。10月下旬

に開催予定の審議会において素案を示し、審議していく。

問 住民説明会を10月には行うとしていたが、今後のスケジュールは。

答 審議会において「実施計画(素案)」の審議を行う段階であるが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらスケジュールの見直しを行っていく。

問 論点整理と実施計画(素案)は同時に示すべきと考えるが、どのように審議していくのか。

答 出来るだけ一体として審議し実施計画(素案)を示していきたい。

JR 非電化を撤回してバックヤード構想を進めよ!

市長 官民あげて反対して本市の社会インフラを守る



小島 雄一 議員



問 JRが示した会津若松駅―喜多方駅間の非電化の方針に対して本市としてどのような対応するのか。また、東京直下型大地震の時に復興を支えるため、近隣県によるバックヤード構想が国会で検討されている。本市として検討推進すべきではないか。

答 本年6月にJRから説明があった。経費節減のため、設備のスリム化を図るとの事である。本市としては利用者の利便性のため、また、郡山からの直通電車を失うことは社会インフラの低下をまねくために反対する。既に県知事、県議会に撤回を求め緊急要望をしたところである。

バックヤード構想には郡山からのミニ新幹線も含まれている。実現すれば地域経済の活性化に大きく貢献するものと期待している。磐越自動車道の完全4車線化も含まれており縦貫道の整備促進も進むと思われる、議論の動向を注目している。

問 別府工業団地の建物取り壊し後の対策は。

答 所有者が販売に向けて努力している。



▲喜多方駅

本市観光施策の課題は何か？



市長 滞在時間の延伸と観光消費金額の拡大である

上野 利一郎 議員



問 令和元年度と令和2年度の観光データは。

答 観光客入込数は令和元年が約182万人で、令和2年が約96万人、宿泊者数は令和元年が約6万3千人で、令和2年が約4万2千人、グリーン・ツーリズム交流人口は令和元年が約6千800人で、令和2年が83人となっている。

問 日帰りと宿泊の観光消費額単価、また市内平均滞在時間は。

答 平成30年度の観光動向及び消費額調査から、日帰りの場合は9千150円で、宿泊の場合は2万5千239円となっており、市内平均滞在時間については、

約3.5時間となっている。

問 観光施策の方針は。

答 全国的に高い評価を得ている日本酒を活かした宿泊観光の推進や体験・周遊プログラム造成、農泊体験など教育旅行の誘致促進、蔵の魅力の再構築、歴史的・文化的資源の活用、花でもてなす観光の推進のほか、新たな観光資源の発掘、アウトドア観光の推進などを掲げ、滞在時間の延伸と観光消費額の拡大につなげていく。



▲アウトドア観光の例「グランピング」

令和4年産米の生産に対する基本姿勢は

市長 需要減少の状況を踏まえ飼料用米の作付拡大を推進する



問 現在の大変厳しい米生産の状況下においても水田農業を守らなければならないと考えるが、令和4年産米の生産に対する基本姿勢は。

答 まず、令和3年産については、これまでで最大規模の減産が必要であったことから、取り組みやすい飼料用米や備蓄米を中心に誘導を図ったところ、前年産に比べて17%多い、約810万トンとなった。令和4年産についても同程度の主食用米の減産が必要になると考えている。このため、取り組みやすい飼料用米の作付拡大を基本に推進したい。また、飼料用米に取り組む農家が主食用米と同程度の

十二村 秀孝 議員



収入が確保できるような産地交付金の使途について検討する。

問 稲作の省力化・低コスト化に向けた新たな直播栽培技術の普及についての考えは。

答 新技術「リゾケアXL」は、従来の直播栽培に比べ安定した出芽と苗立ちが期待される。市としては県農業普及所・JA・認定農業者協議会で視察を実施しており、引き続き有効性や採算性を確認していく。



▲喜多方の田園

急激に益々人口が減っていく。過疎対策待ったなし!



市長 いろいろと対策を取っていく必要がある

伊藤 弘明 議員



問 喜多方市や会津地方は急激に人口が減少している。当市においては合併後15年で熱塩加納、山都、高郷は約33%という急激な減少率である。このまま減少を続けると90年後には、熱塩加納、山都が200人台、高郷が100人台まで人口が減ってしまう。地域社会が無くなってしまふ。国は過疎対策において現状を軽く見ておりイニシアチブを取った政策を取ろうとしない。末端の基礎的自治体に、何か考えてみなさい、お金はある程度出してあげますよ、というスタンスでいる。

国は、東京一極集中を是認しており政策を大きく転換すべきである。

る。田舎に移住すると素晴らしい生活が待っていますよ、という状況を作っていく政策を取っていくべきだ。そうじゃないと日本の国は均衡ある発展どころか、人が住む地域と人が住めない地域の分割が進んでしまふ。まずは独自の過疎対策をもっと強化すべきだ。そして、国にももっとイニシアチブを取った政策を取るべきだ、と強気に訴えていくべきだ。

答 過疎対策については本市にとって極めて重要な政策と考えます。

国への陳情とともに政策を強化して参りたいと考えます。

断らない相談窓口体制の構築を!



市長 福祉総合相談窓口を開設し、ワンストップサービスの実現化を図る

問 断らない包括的な伴走体制及び相談窓口の構築は。

答 4月から新たに社会福祉課に「地域包括ケア推進室」を設置し、全世代にわたる包括的ケアの実現を目指すとともに、福祉に係る相談窓口を統合した「福祉総合相談窓口」を開設し、すべての相談対応がここで完結できる「福祉のワンストップサービス」の実現化を図った。

問 社会的孤立防止対策は。

答 複数の問題を抱えている方が、どこに相談していいかわからないことがないように、一括して相談に応じる「断らない相談体制」を構築し、関係機関と協力しながら、相談者を孤立させない支援につなげている。

菊地 とも子 議員



問 生活支援支え合い会議の設置目標と現在の設置数は。

答 現在7地区に設置されている。令和7年度までに市内16地区に設置する。



▲福祉総合相談窓口

まちなか循環バスの利用率向上策を！



市長 周知の強化と利用者の意見を踏まえ見直しを行う

小林 時夫 議員



問 まちなか循環バスの今後について、利用率を上げるための対策や工夫は今後検討して行くのか。

答 利用率を上げるための対策については、まちなか循環バスの認知度を高めることが必要であるため、目的的地となる医療機関、商業施設及び学校などを通して利用者層に対する周知を一層強化していく。運行内容については、利用者等の意見を踏まえ見直しを行う必要があると考えられており、現在、令和4～8年度までを計画期間とする「地域公共交通計画」の

策定作業を進めており、その中で見直し内容を検討する。

問 デマンド交通（みんべえ号）の今後について、どのように運行されていくのか。

答 今後の運行については、現在、「地域公共交通計画」の策定を進めているところであり、その中で利用者のニーズを踏まえ利用者の増加に繋がるよう、みんべえ号の運行区域や予約方法などについて検討して行く。



▲まちなか循環バス

市役所業務のテレワーク実施状況について問う！



市長 昨年度より試行的に実施しており職員の30%が実施済

問 昨年度以降、事務作業を在宅勤務で行った職員の状況は？

答 昨年6月より試行を推進しており、照会、回答文書の作成、各種計画書の作例、eラーニング研修など様々なテレワーク、在宅勤務を実施しており、昨年度のべ日数は160日、職員全体の30%が実施している。

問 テレワーク、在宅勤務の実施時におけるセキュリティ対策は？

答 テレワーク専用のパソコンを準備し、ID、パスワードでの本人確認が必須となっている他、専用パソコン以外からは基幹システムへリモート接続出

来ないように設定している。また、専用パソコンにはデータの保存が出来ないように設定することで、二重三重のセキュリティ対策を実施している。

問 テレワークの課題とその解決方法は？

答 例えば住民情報や税情報など重要な個人情報を取り扱う業務については、情報保護のためテレワークの対象業務から外している他、テレワーク実施時の注意事項や専用パソコンの取り扱いについて等、管理方法についての実施手順書を設けて職員への遵守を徹底している。

蛭川 靖弘 議員



9月定例会審議結果

意見が分かれたもの

採決で賛否が分かれたものについては下記のとおりです。これ以外の案件などは、全会一致で可決されました。すべての議案名と結果は喜多方市議会ホームページでご覧ください。



議員名 議案等名		議決結果 (議決年月日等)	賛成・反対 賛成	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	反対討論	賛成討論	
				矢吹哲哉	小澤誠	山口文章	4十二村秀孝	5上野利一郎	6小島雄一	7渡部一樹	8蛭川靖弘	9菊地とも子	10小林時夫	11佐藤忠孝	12長澤勝幸	13齋藤仁一	14渡部勇一	15田中雅人	16五十嵐吉也	17齋藤勘一郎	18伊藤弘明	19後藤誠司	20佐原正秀	21山口和男			
陳情 第5	辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書提出の陳情	採択 (令和3年9月16日)	11：10	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	伊藤弘明	矢吹哲哉
議会案 第15号	辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書	原案可決 (令和3年9月16日)	11：10	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○		

○は賛成、●は反対、－は欠席、議長（坂内鉄次）は採決に加わらない。

請願・陳情

次のとおり審査されました。

本会議で採択された請願や陳情は、市議会の意向を意見書等にまとめ、市当局や関係機関へ、その実現を要望します。（各意見書はホームページでご覧いただけます。）



請願名 提出者（敬称略）	趣旨	委員会 (賛成：反対)	本会議 (賛成：反対)
請願第11 沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋立て等に使用しないように求める意見書提出の請願 I 女性会議喜多方支部 代表 田部 芳枝	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋立て等に使用しないこと。また、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を遵守し、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施することを求めるもの。	総務常任委員会 採択	採択
請願第12 沖縄戦戦没者の遺骨混入土砂を辺野古新基地などの埋立てに使用しないことを求める意見書提出の請願 耶麻平和委員会 代表 田中 一光	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋立て等に使用しないこと。また、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」を遵守し、日本政府が主体となって戦没者遺骨収集を実施することを求めるもの。	総務常任委員会 みなし採択	みなし採択
陳情第5 辺野古新基地建設の中止と普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書提出の陳情 「新しい提案」実行委員会 責任者 安里 長従 外1名	沖縄での県民投票で示された民意に反する辺野古新基地建設工事を中止し、普天間基地の運用停止を求めるもの。	総務常任委員会 不採択 (2:4)	採択 (11:10)
陳情第6 人道的見地から、沖縄防衛局による沖縄本島南部地域からの埋立て用土砂採取の断念を求める意見書提出の陳情 沖縄戦遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」 代表 具志堅 隆松	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む地域の土砂を基地建設の埋立て等に使用しないことを求めるもの。	総務常任委員会 みなし採択	みなし採択

討論

陳情第5への反対討論

普天間基地移転は1995年の米兵少女暴行事件を契機に沖縄県民の基地返還要求運動が盛り上がる中で、当時の首相と米駐日大使との間で、普天間基地全面返還に合意し、さまざまな経過を経て、辺野古新基地建設が計画され現在に至っている。

新たな論議を行うことで、大きな混乱を生じることになることは容易に想像でき、国益につながらないと思う。よって、本陳情に反対する。

賛成討論

同趣旨の陳情は2年前の市議会でも賛成多数で採択。再度提出されたのは、国が沖縄南部戦跡の遺骨の眠る土砂を辺野古新基地の埋め立てに使用することのため、沖縄県民の怒りが爆発した。沖縄の民意は「普天間基地の無条件返還、辺野古への新基地建設は認めない」である。これは、2013年の建白書で明白であり、県民投票でも70%以上がそうした意思を示している。

したがって、沖縄県民の意思に沿った解決が必要であり、賛成する。

人事

全会一致で推薦することに同意しました。

人権擁護委員

幸田 久美子〔再任〕

(喜多方／菅原町)

鈴木 善信〔新任〕

(喜多方／中里)

臨時議会が開催されました



令和3年第6回臨時会（8月4日）が開催され、令和3年度喜多方市一般会計補正予算などが提案され、12歳以上65歳未満の市民への新型コロナウイルスワクチンの集団接種に係る経費7,163万6,000円等を全会一致で可決した。

9月定例会では、JR磐越西線会津若松駅から喜多方駅間の非電化計画の撤回を求める決議を全会一致で可決しました。

JR磐越西線会津若松駅から喜多方駅間の非電化計画の撤回を求める決議

JR磐越西線は、昭和42年に郡山駅から喜多方駅間が交流電化され、住民生活の利便性向上はもとより、労働者の輸送にも大きな役割を果たし、会津地方の観光のみならず、通勤・通学輸送を含めた、地域振興に必要な社会基盤としての役割を担っている。

このような中、令和3年8月3日開催の本市議会全員協議会において、市当局より、東日本旅客鉄道株式会社から、新型コロナウイルスの影響等による大幅な利用者減少に伴う厳しい経営環境を理由に、令和4年度から、当該路線の会津若松駅から喜多方駅間の電化設備の撤去に着手し、その後は非電化により列車の運行を図る計画が示されたと、説明があった。

前触れもなく突然に示された計画と言わざるを得ず、この計画では、全車両での会津若松駅乗換えになり、郡山駅から喜多方駅間の直通列車が無くなり、電車から気動車へ切り替わることによる所要時間や乗換えに伴う待ち時間が増加し、現に通勤や通学、観光等で利用している人々の利便性が大きく損なわれるだけでなく、イベント列車の乗り入れが制限されるなど、会津地方全体の誘客活動にも大きく影響するものであり、鉄道網の機能低下による地域や産業の活力低下などの影響が大変危惧されるところである。

よって、本市議会は、この計画を断じて容認できるものではなく、東日本旅客鉄道株式会社に対し、会津若松駅から喜多方駅間の電化設備の撤去と非電化による列車運行計画の撤回を強く求めるものである。

以上決議する。

令和3年9月16日

喜多方市議会

12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/22	22	23	24	25 本会議 (開会、会期決定、 提案理由説明等)	26 休会 (議案調査)	27
28	29 本会議 (一般質問)	30 本会議 (一般質問)	12/1 本会議 (一般質問)	2 本会議 (一般質問)	3 本会議 (議案審議)	4
5	6 委員会 (各常任委員会 付託案件の審査)	7 休会 (事務整理)	8 休会 (事務整理)	9 本会議 (委員長報告、 各案件決定、閉会)	10	11
12	13	14	15	16	17	18

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、体調のすぐれない方、風邪症状がある方の傍聴はご遠慮いただきますようお願いいたします。

なお、傍聴される方は、備え付けのアルコールでの手指の消毒と咳エチケットにご協力をお願いいたします。今後の状況によっては、対応が変わることもありますので、ご了承ください。

12月定例会に行う 請願・陳情について

【提出期限】11月16日（火）午後5時まで

【提出先】喜多方市議会事務局（市役所4階）
※期限を過ぎて提出されたものは、次回定例会での審査になりますのでご注意ください。

【請願提出に関する必要事項】

請願には必ず1人以上の市議会議員の紹介が必要になりますので、市議会議員にご相談ください。陳情の場合は紹介の必要はありません。

詳しくは、議会事務局 TEL24-5253まで

決算特別委員会を開催しました。

令和2年度決算認定審査のため、10月6日～15日まで、休会を除く5日間の日程で開催しました。次号で審査内容をお伝えします。

きたかた FM
議会中継 78.2MHz

定例会の様子を録音放送しています。

開会日の翌週、平日の午後2時～午後5時は、ラジオ放送をぜひお聞きください。

議会
インターネット中継

開会中はライブ(生配信)を視聴できます。

過去の配信映像も視聴できます。



喜多方市議会公式facebookページを開いています。

<https://www.facebook.com/kitakatashigikai/>



議員逝去のお知らせ



令和3年10月3日、坂内鉄次議長がご逝去されました。

平成19年4月に喜多方市議会議員に初当選以来、4期14年の長きにわたり在職されその間、副議長、総務常任委員長、産業建設常任委員長等を歴任、本年6月には第9代議長に就任され、地方自治の発展と住民福祉の向上、喜多方市政に発展にご尽力されました。

謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。

議員逝去のお知らせ



令和3年9月21日、長澤勝幸議員がご逝去されました。

平成15年4月に旧喜多方市議会議員に初当選以来、5期18年の長きにわたり在職されその間、副議長、文教厚生常任委員長、産業建設常任委員長、議会運営委員長等を歴任、地方自治の発展と住民福祉の向上、喜多方市政に発展にご尽力されました。

謹んで故人のご冥福をお祈りいたします。



取材レポート

新しい視点で 観光・物産を活性化!

(特集2・3ページをご覧ください。)



喜多方市の観光・物産事業に関わる皆さんにおいで頂きました。

長期化するコロナ下で厳しい状況にも関わらず、さまざまな挑戦や工夫をしながら事業を継続、発展していこうとする皆さんの気合いには感服いたしました。

インタビューが進むにつれてアイデアがあふれ、今後の連携の可能性と喜多方市の観光物産の未来が見えてくるような、とても前向きな意見交換となりました。最後には参加者の皆さんがとても仲良くなり、励まし合う姿はとても頼もしく思えました。

一方、行政や議会に注文も。「利用しやすい支援制度にしてほしい」「かわいい空き家がいっぱいあるから利活用した方がよい」…。今回参加した皆さんが実際に感じていることを我々としてもしっかりと受け止め、活かしていきたいと思います。

喜多方観光物産協会が法人化され、新たな一歩を踏み出しました。未来を担う若者がたくさんの挑戦ができ、多くの人を呼び込める魅力あふれる喜多方市となるためにも、新しい発想で機動力のある皆さんの力が必要だと感じました。

背景の絵柄は「喜多方の染型（県有形民俗文化財指定）」“波に花紋入菊”です。



編集後記

9月末に長澤勝幸議員、10月初めに坂内鉄次議員が亡くなられました。余りに突然で続けての出来事に驚愕しました。改めて、お二人に哀悼の意を表します。

さて、議会だよりは、各議会定例会での議論の内容と何が決まったのかを、皆様に伝える大切な役割を担っています。その視点で、今後も編集をしていきます。

齋藤 仁一

議会広報広聴委員会



委員
十二村 秀孝



委員
矢吹 哲哉



副委員長
山口 文章



委員長
菊地 とも子



委員
渡部 勇一



委員
齋藤 仁一



委員
蛭川 靖弘



委員
渡部 一樹